

2023 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [埼玉大学教育学部附属小学校] 担当教諭名 [吉野 竜一] (5年1組 35名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [National University of Tainan Affiliated Primary School] 担当教諭名 [Dai-Ying Yang]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	国語	学びをつくらう	21
	課外授業	想いを絵で表現しよう	11

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	水から(=自ら)描く未来
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	一人一人が自由に(生きたいように)生きることができ、その自由を互いに尊重し合う未来。 その自由が尊重されることを前提に、よりよい方向へ進もうとする未来。 そんな未来を水から考えていこう、というメッセージです。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
視野が広がり、世界が広がったこと。 相手の「らしさ」を受け入れることができたこと。	言葉の壁、フォーラムの重たさ、故に対話に時間がかかる。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
違いを受け入れ、違いを楽しめるようになった。	思ったよりずっと世界が近いと思えた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月	書籍、インターネット、実地調査、インタビュー	(以下、児童へのアンケートより抜粋) 世界の水の状況やその原因を知れた。	国語6
共有 相手と意見交換	9月 10月	現状の理解 原因の抽象化 手立ての発案	自分だけの思いだけではなく、思い通りにいかない人たちの気持ちを理解することができた。	国語6
融合 メッセージ作成	11月	描く未来の共有	ほかの文化の国や町、違う意見の友達と意見を合わせながら学習できるようになった。ほかの意見を受け入れて話し合えるようになった。	国語6
創造 壁画制作	12月	「共有」と「融合」で学んだことの表現	個人でやっているときよりも対話ができるようになって、その結果意見をぶつける力がついたと思う。前は対話をしないで相手が考えを言ったら自分が「その考えはいいね！」って言ってしまい、すぐ解決にあたってしまったが、今回は対立をたくさんしてよりよい考えが生まれたと思う。	国語1 課外授業 11
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	プロセスの振り返り 成果の振り返り 未来への展望	まず、世界各地の人と交流してみることに。いろいろな人と交流してみると他人事だったものが自分事へと一歩近づくと感じる。	国語2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	4	(児童の自己評価から) 他の教材や他の教科の学習の際に、「受け入れる」ことをベースに話し合いをしている姿が見られました。
主体的に考え行動する力	5	「方法」「相手」「時間」「課題」の自己決定をしながら学ぶ姿が見られました。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	主観と客観を往還したり、感性と理論を往還したりすることで、バランスよく学習調整を行っていると感じました。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	子供たちにとって初めての経験となりましたが、「これからも何とかなる」という自信をもって学習を終えられたようでした。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	言語で表現することが中心でしたが、今回のアートによる表現を行ったことで「自分らしく表現することの大切さに気付いた児童が多数見られました。